

# 袖師保育園 自己評価チェック 集計結果

( 2025 )年度

評価方法→Aよくできている・Bできている・Cどちらでもない・Dできていない

## 自己評価チェックリスト①

合計点と園の評価について

A:4点 B:3点 C:2点 D:1点  
3.5以上:A 2.5以上:B 1.5以上:C 1.5未満:D

	<勤務態度・姿勢・職員間の連携など>	人数	A	B	C	D	未記入	合計点	平均点	園の評価
1	遅刻せず、時間内に余裕をもって出勤し、出勤簿に押印している	15	9	6	0	0	0	54	3.6	A
2	挨拶や電話、来客対応ができる(園児や保護者だけでなく、業者、見学者などにも積極的に挨拶しているか)	15	11	4	0	0	0	56	3.8	A
3	言葉遣いに気を付け、常に笑顔を心がけている	15	9	4	2	0	0	52	3.5	A
4	仕事に適した身だしなみに注意している(清潔感・髪の毛をしばる・過度のメイクや髪の色など)	15	12	2	1	0	0	56	3.8	A
5	自己の健康管理が出来ている(睡眠・3食・予防接種・体調不良時の申告など)	15	12	3	0	0	0	57	3.8	A
6	自己の職責を理解している(守秘義務違反・職種や園の信用を無くす行為や発言をしていないか)	15	13	2	0	0	0	58	3.9	A
7	上司の指示や言葉を肯定的に受け止めたり、定められた規則、手続きを守ることができる	15	10	5	0	0	0	55	3.7	A
8	ケガやトラブルなどがあったときは大小問わず、園長等に報告している	15	8	7	0	0	0	53	3.6	A
9	職員間で常に報告、連絡、相談の体制が機能している	15	13	2	0	0	0	58	3.9	A
10	職員間で各自の特性や短所、長所を理解し、良い方向へ進めるよう努力している	15	9	6	0	0	0	54	3.6	A
11	職員間でコミュニケーションをよくとり、後輩が安心して相談できるような雰囲気作りを心がけている	15	10	4	1	0	0	54	3.6	A
12	困ったときは先輩後輩を問わずお互いに適切な援助をすることができる	15	9	6	0	0	0	54	3.6	A
13	公平に人の話を聞いたり、話したり、正直に伝達できる	15	12	3	0	0	0	57	3.8	A
14	他人の立場、心情を理解するよう努めている(子ども、保護者、職員間の軽はずみな批判はしていないか)	15	11	4	0	0	0	56	3.8	A
15	苦手な分野にもチャレンジしようという意欲がある	15	2	11	2	0	0	45	3.0	B
16	研修で得たことや気づいたことを自分の業務で実践している	15	4	9	1	0	1	45	3.0	B
17	指定された研修以外にも、自分で知り得た研修への参加伺いができる	15	2	7	3	2	1	37	2.5	B
18	組織の一員であることを自覚し、行動している(許可のない活動や扇動、越権行為はしていないか)	15	13	2	0	0	0	58	3.9	A
19	会議などで積極的に発言できる	15	4	7	2	1	1	42	2.8	B
20	誤字や脱字のない、内容が正確に伝わる文章が書ける	15	2	12	1	0	0	46	3.1	B

自己評価の最も低い項目、又は苦手とする項目(複数回答可)

## 自己評価チェックリスト②

合計点と園の評価について

A:4点 B:3点 C:2点 D:1点  
3.5以上:A 2.5以上:B 1.5以上:C 1.5未満:D

	<保育の姿勢など>	人数	A	B	C	D	未記入	合計点	平均点	園の評価
1	保育園に勤務する職員としてふさわしい態度で子どもと接している(適切でない言葉がけや不必要な禁止語、恫喝などを行なっていないか)	15	8	6	0	1	0	51	3.4	B
2	保育所保育指針や関係法などを知り、理解するよう努めている	15	5	10	0	0	0	50	3.4	B
3	自園の理念や基本方針を理解し、それに沿った保育を行うようにしている	15	7	7	0	0	1	49	3.3	B
4	子どもの気持ちに寄り添い、一人ひとりと信頼関係を築くようにしている(スキンシップ、受け止めなど)	15	13	1	0	0	1	55	3.7	A
5	この子はこうだと決めつけず、常に長所や優れた面を発見しようと心掛けている	15	12	3	0	0	0	57	3.8	A
6	一日の終わりにそれぞれの子どもがしていたことが言える	15	9	4	0	0	2	48	3.2	B
7	毎朝子ども一人ひとりに視診を行い、健康状態を確認し、異常に気づくことができる	15	10	3	0	0	2	49	3.3	B
8	子ども一人ひとりに平等に接している	15	12	3	0	0	0	57	3.8	A

9	子どもの家庭環境なども把握して、適切に対応している	15	9	5	0	0	1
10	日々の保育など、常に予め計画を立てて事前の準備や環境設定をし、保育に望むようにしている	15	6	7	1	0	1
11	毎日の清掃の他、適切に消毒を行ったり、空気清浄器や加湿器などを正しく使用して環境の衛生に努めている	15	11	2	2	0	0
12	室内外の設備や玩具などについて、常に安全点検や危険物の排除などを行っている	15	9	4	1	0	1
13	園の備品や設備を丁寧に扱うとともに、子ども達に玩具等の扱いについて日々指導している	15	11	3	0	0	1
14	保育における情報に关心を持ち、情報誌や専門書、インターネットなどで外部情報を取り入れている	15	6	8	1	0	0
15	自らの保育実践を定期的に振り返り、評価し、向上に努めるように努力している	15	5	8	1	0	1

自己評価の最も低い項目、又は苦手とする項目(複数回答可)

51	3.4	B
47	3.2	B
54	3.6	A
50	3.4	B
53	3.6	A
50	3.4	B
46	3.1	B

#### 自己評価チェック③

#### 合計点と園の評価について

A:4点 B:3点 C:2点 D:1点  
3.5以上:A 2.5以上:B 1.5以上:C 1.5未満:D

	<保育内容など>	人数	A	B	C	D	未記入
1	子どもの各発達過程について理解している	15	7	8	0	0	0
2	子どもの発達の特性や段階を理解し、個々に応じた適切な援助を行っている	15	8	5	1	0	1
3	離乳食の進め方がわかる	15	6	5	3	0	1
4	食育の必要性を理解し、日々の保育の中に取り入れている	15	7	7	0	0	1
5	乳幼児期にかかる病気や感染症の症状や対策がわかる	15	6	8	1	0	0
6	乳幼児期の起こりやすい事故やケガへの適切な対応ができる	15	5	9	1	0	0
7	年齢や月齢に合った玩具を用意し、子どもに選択肢をもたせて使用している	15	7	6	1	0	1
8	動物を飼育したり植物を育てたりする環境を整え、その成長や収穫の喜びを味わえるよう配慮している	15	4	4	4	1	2
9	自由遊びの中で、草花遊びや泥んこ遊びなど自然と直接触れ合う遊びを積極的に取り入れている	15	6	4	4	0	1
10	保育士の利便性だけでなく、子ども主体の環境構成となるようクラス環境を工夫している	15	8	6	0	0	1
11	子どもの知的欲求の変化に気づき、探究心や知的好奇心を満たしたり、引き出したりするよう配慮している	15	8	6	0	0	1
12	絵本や紙芝居などに親しみ、言葉を育していくように配慮している	15	11	3	0	0	1
13	その日の子どもの様子や天候などに応じて柔軟に対応し、豊かな保育を行うことができる	15	10	4	0	0	1
14	障害の種類やその特性を理解し、適切な援助ができる	15	4	8	2	0	1
15	気になる子や障害児の保育について前向きに受け止めて保育することができる	15	8	5	1	0	1

合計点	平均点	園の評価
52	3.5	A
49	3.3	B
45	3.0	B
49	3.3	B
50	3.4	B
49	3.3	B
48	3.2	B
37	2.5	B
44	3.0	B
50	3.4	B
50	3.4	B
53	3.6	A
52	3.5	A
44	3.0	B
49	3.3	B

自己評価の最も低い項目、又は苦手とする項目(複数回答可)

#### 自己評価チェック④

#### 合計点と園の評価について

A:4点 B:3点 C:2点 D:1点  
3.5以上:A 2.5以上:B 1.5以上:C 1.5未満:D

	<保護者や地域とのかかわりなど>	人数	A	B	C	D	未記入
1	保護者との接し方は平等になるよう心掛けている	15	14	1	0	0	0
2	保護者には丁寧な言葉で敬語を正しく使って話している	15	12	3	0	0	0
3	保護者に対して園の理念や方針について話ができる	15	5	10	0	0	0
4	園の方針を理解したうえで、「こんなクラスにしたい」と保護者に言える	15	8	6	0	0	1

合計点	平均点	園の評価
59	4.0	A
57	3.8	A
50	3.4	B
50	3.4	B

5	保護者と積極的にかかわり、子どもの変化や出来事などをできるだけ伝えるようにしている	15	7	5	2	0	1	47	3.2	B
6	ケガや事故の時には、その日のうちに状況や原因などを細かく説明している	15	12	2	0	0	1	54	3.6	A
7	保護者からの保育に対しての訴えや要望、意見などを受け止めている	15	9	5	0	0	1	51	3.4	B
8	まずは保護者の話を十分に聴き、思いを受けとめながら信頼関係を築くよう心掛けている	15	11	3	0	0	1	53	3.6	A
9	どの保護者とも子どものことについて話ができる	15	9	5	0	0	1	51	3.4	B
10	園と保護者の双方の立場を理解し、保護者に対し必要な応じた適切なアドバイスができる	15	5	8	1	0	1	46	3.1	B
11	連絡帳などは毎日必ず読み、丁寧に返答するとともに、職員間で内容の共有を行っている	15	12	2	0	0	1	54	3.6	A
12	分からぬ事や自分の判断で答えられない場合は、園長などに相談してから返事をしている	15	9	6	0	0	0	54	3.6	A
13	保護者の気持ちを思いやり、その気持ちに沿った言葉かけができる	15	9	5	0	0	1	51	3.4	B
14	保育園見学など、初対面の保護者とも積極的にかかわることができ	15	6	7	1	1	0	48	3.2	B
15	保育園見学などの保護者に対して簡単な案内をしたり、自園の良さをアピールすることができる	15	5	7	3	0	0	47	3.2	B

自己評価の最も低い項目、又は苦手とする項目(複数回答可)

## 【1】勤務態度・姿勢・職員間の連携について

「職員の姿勢」や「チームワーク」は、子どもたちが安心して過ごせる園の土台であると考えています。今回の自己評価では、この土台が非常に強固であることが確認できました。

「遅刻せず、時間内に余裕をもって出勤する」「挨拶や電話、来客対応を積極的に行う」「仕事に適した身だしなみ」といった社会人としての基本姿勢をはじめ、「自己の健康管理」「守秘義務の遵守」など、プロとして責任感ある行動を全職員が高いレベルで実践できていることが示されています。

特に、子どもたちに関わる大切な情報共有の要である「職員間での報告・連絡・相談」や、「後輩が安心して相談できる雰囲気づくり」といった連携面で高い評価を得られたことは、私たちの大きな強みです。職員同士が互いを尊重し、円滑なコミュニケーションを取ることで、園全体で一人ひとりのお子様をきめ細かく見守る体制が整っています。この安定した組織力と温かいチームワークを基盤に、子どもたちにとって心理的安全性の高い、穏やかな環境を提供し続けてまいります。

## 【2】子どもたちへの関わり方(保育の姿勢)について

子どもたち一人ひとりとの関わりは、私たちの保育の中心です。今回の評価では、「子どもの気持ちに寄り添い、一人ひとりと信頼関係を築く」「この子はこうだと決めつけず、常に長所や優れた面を発見しようと心掛けている」「子ども一人ひとりに平等に接している」といった項目で、全職員が極めて高い評価となりました。これは、私たち職員がすべての子どもたちに対し、深い愛情と敬意をもって接していることの表れです。

私たちは、お子様のありのままの姿を受け止め、その子らしい個性を輝かせることを何よりも大切にしています。日々のスキンシップや温かい言葉かけを通して、子どもたちが「自分は大切にされている」と感じられるような信頼関係を築くことを常に心がけております。また、「保育所保育指針の理解」や「毎日の視診による健康状態の確認」など、専門性を高める努力も継続しており、今後も研修などを通じてさらに質の高い保育を目指してまいります。子どもたちの心に寄り添い、健やかな成長を支える温かい保育をこれからも実践してまいりますのでご安心ください。

## 【3】保育の環境と内容について

子どもたちが日々を過ごす「保育環境」と「活動内容」の充実も、私たちの重要な責務です。

安全・衛生面では、「毎日の清掃や適切な消毒、環境衛生への配慮」「室内外の設備や玩具の安全点検」といった項目で高い評価を得ており、お子様が安心してのびのびと過ごせる環境が確保できています。

また、豊かな心を育む活動として、「絵本や紙芝居に親しみ、言葉を育てていく配慮」や、「その日の子どもの様子や天候に応じて柔軟に対応し、豊かな保育を行う」といった項目でも高い評価となりました。子どもたちの興味や発達段階に合わせ、知的好奇心を引き出す工夫を凝らしながら、豊かな感性や言葉の育ちを大切にしています。

「離乳食の進め方」や「自然と触れ合う遊び」など、さらに工夫や学びを深めていくべき点も確認できました。これらの点については、職員一丸となって知識を深め、より豊かな体験活動を提供できるよう改善に努めてまいります。安全で心豊かな環境の中で、子どもたちの「やってみたい」という気持ちを大切にする保育をこれからも展開していきます。

#### 【4】保護者の皆様や地域との関わりについて

子育ての喜びや悩みを分かち合い、共にお子様の成長を見守るパートナーとして、保護者の皆様との連携を何よりも大切にしています。

今回の評価では、「保護者との接し方は平等になるよう心掛けている」「丁寧な言葉で敬語を正しく使って話している」「連絡帳は毎日必ず読み、丁寧に返答する」「ケガや事故の際には、状況や原因を細かく説明する」など、保護者の皆様に対する誠実なコミュニケーション姿勢が、全職員において高く評価されました。

また、「まずは保護者の話を十分に聴き、思いを受けとめながら信頼関係を築く」という傾聴の姿勢も、私たちの基本です。皆様のお気持ちに寄り添い、安心して何でもお話しいただけるような関係づくりを常に目指しています。分からないことや判断に迷うことがあれば、必ず園長などに相談し、園として責任ある対応を徹底しております。

今後は、園の理念や方針をより積極的にお伝えしたり、子育てに関するアドバイスをより的確に行ったりできるよう、さらに研鑽を積んでまいります。これからも皆様との対話を大切にし、信頼される保育園であり続けられるよう努めてまいります。

#### 【全体のまとめ】

この度の自己評価アンケートを通じて、職員一人ひとりがプロとしての高い意識を持ち、温かいチームワークのもとで子どもたちに愛情深く接していること、そして保護者の皆様と誠実に向き合っていることを再確認することができました。これは、日頃から皆様にご協力いただいているおかげと深く感謝しております。

特に、「職員の責任感ある勤務姿勢」「子ども一人ひとりの個性を尊重する温かい眼差し」「安全で衛生的な環境」「保護者の皆様との丁寧なコミュニケーション」といった点は、袖師保育園の大きな強みであると自負しております。

同時に、保育内容のさらなる専門性の向上や、より豊かな体験活動の提供など、今後さらに力を入れていくべき課題も見えてまいりました。この結果に甘んじることなく、職員一同、今回の評価を真摯に受け止め、皆様からお預かりしている大切なお子様一人ひとりの健やかな成長のために、より一層保育の質の向上に努めてまいる所存です。